

〔第2次尼崎市男女共同参画計画〕 実施状況調査(23年度)

局	教育委員会	課	学校教育課
---	-------	---	-------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向NO	1 学校等における性教育の推進 5111
事業名	性教育の推進
事業内容	学習指導要領に基づき、発達段階に応じた生命と人権を大切にする性教育の推進を図る。

実施内容(DO)	
実施内容	・「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。中学校では、「こころの教育」派遣事業を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 「こころの教育」：性教育の講演50時間(事業を活用した中学校19校)
過去の 実施内容 (22年度)	・「保健」や「理科」の授業を通じて「男女の性差」「二次性徴」「生命の尊さ」等を学習する。中学校では、「いのちの教育」派遣事業を活用して産婦人科医師や助産師などを招き、性教育の講演を行った学校もあった。 「いのちの教育」：性教育の講演52時間(事業を活用した中学校19校)

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)

評価2(CHECK) 数値目標									
目標項目	保健所等と連携した性教育を実施した校数の割合								
目標・実績	目標値	増加	達成年度	28年度	23年度	22年度	21年度	20年度	19年度
実績の評価	達成している 下回った	性教育の講演と関連した「いのちの教育」の取組が広がりつつある。							

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	「生命を尊重する心」を育成するための授業や講演会の機会を広げ、内容を深める。

〔第2次尼崎市男女共同参画計画〕 実施状況調査(23年度)

局	教育委員会	課	学校教育課
---	-------	---	-------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向NO	1 学校等における性教育の推進 5112
事業名	思春期の性に関する心身の悩みの相談
事業内容	保健室等で個別指導や教育相談を行うなど、性の不安や悩みに対する相談や性への健全な態度を培うように努める。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>・小学校でも、中学校でも、養護教諭やスクールカウンセラー等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。</p> <p>校種別年間の相談件数：小学校105件(二次性徴・身体の変化93件、デートDV1件、男女交際3件、その他8件)。中学校377件(二次性徴・身体の変化153件、デートDV6件、男女交際179件、その他39件)。高校120件(二次性徴・身体の変化18件、デートDV3件、男女交際72件、その他27件)。</p>
過去の 実施内容 (22年度)	<p>・小学校でも、中学校でも、養護教諭等が児童生徒から性に関する悩みの相談を受けた時には、丁寧に個別に対応している。</p> <p>校種別年間の相談件数：小学校77件(二次性徴・身体の変化70件、デートDV1件、男女交際4件、その他2件)。中学校512件(二次性徴・身体の変化164件、デートDV15件、男女交際192件、その他141件)。高校86件(二次性徴・身体の変化4件、デートDV2件、男女交際53件、その他27件)。</p>

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。</p> <p>固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。</p> <p>対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。</p> <p>文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。</p> <p>(その他の特記事項)</p>

評価2(CHECK) 数値目標							
目標項目							
目標・実績	目標値		達成 年度	年度	23年度		22年度
実績の評価	達成している 下回った						

課題整理(ACTION)	
今後の 方向性 課題整理	<p>児童生徒が気兼ねなく訪問できる開かれた保健室・相談室のために、環境づくりを進める。スクールカウンセラーだけでなく、養護教諭も児童生徒の相談や悩みを聞く機会を増やす。</p>

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	教育委員会 こども青少年	課	教育総合センター 青少年課
---	-----------------	---	------------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向NO	1 学校等における性教育の推進 5113
事業名	有害情報の規制
事業内容	学校等においてインターネット上の有害情報の取扱いにかかる啓発・指導を行う。青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施する。カラオケ、レンタルビデオ店等の出店場所や青少年の集まりやすい場所の実態を把握するために「環境実態調査」を実施する。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>【教育総合センター】 有害情報コンテンツフィルタの継続活用(平成20年8月1日より更新実施) 有害情報に係るカテゴリーの追加削除フィルタが86項目へ拡張されたことで、有害情報の除去に関してより細やかな設定を行うことが可能となった。削除フィルタについては、必要に応じて教育総合センターで解除することができ、児童・生徒が主体的に性教育について学ぶことができるよう対応している。 【青少年課】 有害環境等実態調査を実施 <少年を取り巻く有害環境等実態調査> 調査期間 平成23年 6月1日～6月30日 平成23年11月1日～11月30日 ・ビデオ、カラオケ、ゲームセンター等店舗の現況調査を6月及び11月に実施 ・環境調査集計表、迷惑ピラ回収状況をホームページに掲載 青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施 <有害図書類の回収> 回収期間 平成23年 1月1日～12月末 類型 6,302冊(内ビデオ・DVD 1,520) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置 ・成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施 ・投函物は週に一度回収 回収された投函物を分類や集計する</p>
過去の 実施内容 (22年度)	<p>【教育総合センター】 有害情報コンテンツフィルタの継続活用(平成20年8月1日より更新実施) 有害情報に係るカテゴリーの追加削除フィルタが86項目へ拡張されたことで、有害情報の除去に関してより細やかな設定を行うことが可能となった。削除フィルタについては、必要に応じて教育総合センターで解除することができ、児童・生徒が主体的に性教育について学ぶことができるよう対応している。 【青少年課】 有害環境等実態調査を実施 <少年を取り巻く有害環境等実態調査> 調査期間 平成22年 6月1日～6月30日 平成22年11月1日～11月30日 ・ビデオ、カラオケ、ゲームセンター等店舗の現況調査を6月及び11月に実施 ・環境調査集計表、迷惑ピラ回収状況をホームページに掲載 青少年に悪影響を及ぼす有害図書等の回収を実施 <有害図書類の回収> 回収期間 平成22年 1月1日～12月末 類型 5,860冊(内ビデオ・DVD 1,070) ・市内6箇所(6行政区)に白ポストを設置 ・成人向け雑誌などの「有害図書類」を回収して青少年の有害環境浄化を実施 ・投函物は週に一度回収 回収された投函物を分類や集計する</p>

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p>										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	<p>【教育総合センター】 安定したインターネット環境の維持・管理と、学習に活用出来る情報を学校が必要に応じて、有効活用出来るようバランスを保つ事が重要である。フィルタリングのカテゴリーについても毎年検討していく。 理由として、学校等における有害情報の規制としてフィルタリングを行った結果、性教育の情報についても排除されることがあり、児童・生徒が主体的に性教育について学ぶことが難しい。担当が必要に応じて、学校が活用出来る環境を設定していかなければならないためである。 【青少年課】 青少年を有害な環境から守るため、地域・関係機関と連携し、市民の環境浄化に対する意識を高める。また、青少年非行に影響があると思われる店舗等への協力依頼等を強化し、青少年が非行に走らないよう未然防止に努める。 市内6箇所の白ポスト(有害図書回収)の維持管理及び利用普及に努める。</p>

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	健康増進課・保健センター
---	-------	---	--------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向	1 学校等における性教育の推進
NO	5114
事業名	学校と連携した性教育の実施
事業内容	保健所・保健センター・各地域保健担当での随時相談を受けるほか、思春期の中学生等を対象に、「赤ちゃんふれあい体験学習」を行い、命の尊さを学ぶ機会をつくり、将来親になる意識を育てていく。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>性教育担当教諭や養護教諭と性の知識や情報を共有し、若者の性感染症や望まない妊娠の予防につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい型体験学習 3回 74人 ・学校と連携した性教育 13回 583人 (名和小学校、北難波小学校、園田中学校、立花中学校、若草中学校、城内高等学校) ・教諭への性教育 3回 81人 (北難波小学校、市立中学校性教育研究会、市立小学校性教育研究会) ・幼児期からの性教育 3回 35人 ・性教育講演会 1回 55人(医療従事者、学校、保健所関係) ・支援者研修 1回 7人
過去の 実施内容 (22年度)	<p>性教育担当教諭や養護教諭と性の知識や情報を共有し、若者の性感染症や望まない妊娠の予防につなげる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふれあい型体験学習 6回 660人 ・学校と連携した性教育 7回 1,007人 (園田中学校、大庄北中学校、園田女子大学) ・教諭への性教育 2回 59人 (市立中学校性教育研究会、市立小学校性教育研究会) ・幼児期からの性教育 4回 67人 ・支援者研修 5回 143人

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	母子保健相談指導事業 4521

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p>										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	<p>本市は兵庫県下の中でも10代の出産・人工妊娠中絶率が高い傾向にあり、思春期における正しい性の知識について認知度が低下しており、産み育てる力へ影響が考えられる。 教育機関との連携を強化して継続的に実施し、望まない妊娠・性感染症感染を予防するための健康教育を実施していく。</p>

〔第2次尼崎市男女共同参画計画〕 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	健康増進課、保健センター
---	-------	---	--------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	1 女性の健康と権利(リプロダクティブ・ヘルス/ライツ)に関する意識の浸透 重点方針
施策の方向	2 母性保護についての意識啓発
NO	5121
事業名	ママやパパのためのマタニティーセミナー(両親学級)の実施
事業内容	母性の保護及び新生児の保育を主目的とした「ママやパパのためのマタニティー・セミナー(両親学級)」を開催する。

実施内容(DO)	
実施内容	ママやパパのためのマタニティーセミナー 地域保健担当 68回 796人 マタニティークッキング 健康増進課 24回 456人 マタニティー 歯ッピーセミナー 15回 92人
過去の 実施内容 (22年度)	ママやパパのためのマタニティーセミナー 地域保健担当 68回 843人 マタニティークッキング 健康増進課 24回 402人 マタニティー 歯ッピーセミナー 15回 88人

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	母子保健相談指導事業

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	新しい家族の形成、夫婦で健やかな妊娠、出産を迎えるため、今後も継続して、知識の普及と体験型の教室を実施していく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	保健企画課、感染症対策担当
---	-------	---	---------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向NO	1 女性の健康をおびやかす問題に対する予防・啓発 5211
事業名	喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に関する啓発
事業内容	地域・職域を対象とした健康講座、エイズ予防啓発キャンペーン、覚醒剤乱用防止キャンペーン等を通じ、喫煙・アルコール・薬物・HIV/エイズ・性感染症に対する予防啓発を図る。

実施内容(DO)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止駅前キャンペーン実施(1回 1,000人) 講演会(4回 延べ579人) 薬物乱用防止巡回パネル展示 6校 薬物乱用防止啓発運動(6回) エイズ啓発講演会(市民・養護教諭・教育関係者・保健師・介護事業所職員・小学生等)233人 エイズ予防啓発街頭キャンペーン(2回 延べ2000人) エイズ予防月間ポスター配布(大学・高等学校・中学校・10公民館・図書館・FMあまがさきなど100箇所) 世界エイズデーキャンペーンポスター展示依頼及びパンフレット配布(大学・高等学校・中学校・公民館・図書館・FMあまがさきなど100箇所) 世界エイズデーキャンペーン(保健所でポスター・パネル展示とパンフレット配布)
過去の 実施内容 (22年度)	<ul style="list-style-type: none"> 薬物乱用防止駅前キャンペーン実施(1回 1,500人) 講演会(2回 延べ440人) 薬物乱用防止巡回パネル展示 7校 薬物乱用防止啓発運動(7回) 大学の地域交流事業内でエイズ啓発イベントを実施(学生・一般市民 89人) メモリアルキルト・パネル展示(大学) エイズ啓発(子宮頸がん啓発含む)講演会(市民・養護教諭・教育関係者・保健師等 15人) エイズ予防啓発街頭キャンペーン(2回 延べ3000人) エイズ予防月間ポスター配布(大学・高等学校・中学校・10公民館・図書館・FMあまがさきなど100箇所) 世界エイズデーキャンペーンポスター展示依頼及びパンフレット配布(大学・高等学校・中学校・公民館・図書館・FMあまがさきなど100箇所) 世界エイズデーキャンペーン(保健所でポスター・パネル展示とパンフレット・コンドーム配布)

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 24年度も引き続き小中学生ら低年齢層へ向けた薬物乱用防止意識の普及・啓発に重点を置いて行っていく。
課題整理	<ul style="list-style-type: none"> HIV/AIDS性感染症について、若者への講演会等による啓発の充実 HIV感染者の支援のネットワーク作り・支援体制の強化 子宮頸がん予防(子宮頸がん予防ワクチン)について、教育関係者及び一般市民への啓発の強化

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	健康増進課・成人保健担当 保健センター・感染症担当
---	-------	---	------------------------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向	2 妊娠・出産期における女性の健康支援
NO	5221
事業名	各種教室(思春期・エイズ・禁煙・成人健康)・保健師の健康相談
事業内容	思春期の健康、エイズ、喫煙等に対する正しい知識を普及、啓発し女性の健康づくりを図る。また、学校と連携して防煙教室を実施する。

実施内容(DO)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙クリニック(22人 延50人) ・思春期の喫煙防止、禁煙教育(2回 335人 内1回は小田北中学校) ・受動喫煙防止ストラップ(マタニティマークと併用) 妊婦へ配布(4,528人) ・乳幼児健診、2歳児歯科検診での啓発ビラ配布 5,000部 ・HIV/エイズ予防(児童対象) 浜小学校 1回123人 ・HIV/エイズ予防(教諭・保護者対象) 浜小学校 1回24人
過去の 実施内容 (22年度)	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙クリニック(28人 延61人) ・思春期の喫煙防止、禁煙教育(4回 359人) ・受動喫煙防止ストラップ(マタニティマークと併用) 妊婦へ配布(4,555人) ・城内高校総合学習「性感染症について」 1回30人 ・関西国際大学共催 エイズ啓発活動 ・「ウイルス感染症(HPV)から子ども達の未来を守るために」

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	健康づくり事業

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	妊娠・出産期における女性の健康支援については、喫煙率が横ばい傾向にある女性の喫煙、10代の女性のやせ傾向(低出生体重児の増加の原因の一つとされる)等、健康的な母体の育成や子育て環境づくりのために若い世代からの健康づくりについての正しい知識の普及啓発について、教育機関と連携して、継続して実施していく。

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	健康増進課
---	-------	---	-------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向	2 妊娠・出産期における女性の健康支援
NO	5222
事業名	妊娠・出産期における健康支援
事業内容	母子健康手帳交付時に全妊婦を対象に妊婦健康相談を実施、ハイリスク妊婦の早期発見、支援し、また妊婦健診の結果報告を活用し、妊娠中の健康管理と将来の疾病等の予防に努める。

実施内容(DO)	
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時、保健師が全ての妊婦に対し面接相談(7か所:4,630人) 妊婦健診助成事業(前期4,391人、後期4,099人、基本述べ43,177人) 妊婦歯科健診(18回、458人) H24年3月から妊娠等に関する相談窓口を周知徹底するために、妊娠相談窓口のPRカードを作成し、市内の薬局等に通じてPRカードを設置。
過去の 実施内容 (22年度)	<ul style="list-style-type: none"> 母子健康手帳交付時、保健師が全ての妊婦に対し面接相談(7か所:4,678人) 妊婦健診助成事業(前期4,152人、後期3,991人、基本述べ41,597人) 妊婦歯科健診(18回、391人)

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	母子健康手帳作成事業・妊婦健診事業・母子保健相談指導事業

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか	
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすい配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p> <p>妊婦を対象する事業のため、女性対象となるが、母子健康手帳交付時では、妊婦とパートナーと2人で来所される方が見られるようになり、また妊婦が日中、仕事のため、交付の窓口に来所できない場合、パートナーだけでも受付をしている。</p>

評価2(CHECK) 数値目標							
目標項目							
目標・実績	目標値		達成 年度	年度	23年度		22年度
実績の評価	達成している 下回った						

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	<p>望まない妊娠、母子健康手帳交付の遅れ、妊婦健診未受診、駆け込み分娩等の課題がある。 継続して、母子健康手帳交付の面接相談や医療機関と連携して妊婦健診事業等を実施し、要支援妊婦の把握、早期支援に努めていく。 尚、H24年2月より、妊娠に対する悩みや経済面・子育ての不安等に対し、安心して相談できる窓口を早期に周知できるよう、妊娠相談窓口のPRカードを作成し、薬局等に設置を始めている。取組の評価については、今後の課題である。</p>

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	健康増進課・成人保健担当・保健センター
---	-------	---	---------------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向NO	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援 5231
事業名	更年期健康支援
事業内容	更年期の健康づくり支援のための更年期教室、骨粗鬆症予防教室の取組みを検討する。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>【保健センター】</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨粗鬆症検診 (方法) 問診、骨振動測定器による骨量測定 (実施日) 毎週月曜日 (実績) 受診者数252人(要精密検査者数44人) 地域団体などからの依頼による健康教育～女性のための健康づくり(がん・生活習慣病)～ (実績) 実施回数4回 参加者数59人 <p>【健康増進課】</p> <ul style="list-style-type: none"> 骨粗鬆症検診事後個別指導(保健師、管理栄養士) 毎週月曜日 (内容) 検診結果に基づく食生活や運動習慣、転倒予防などの日常生活での具体的な工夫を取り入れた個別保健指導により骨粗鬆症の予防を図る。また、必要に応じて受診勧奨を行い、早期治療による重症化予防を図る。 (実施日) 毎週月曜日 (実績) 実施回数41回 参加者数252人 骨粗鬆症予防教室(食事・運動) (実績) 実施回数2回 参加者数35人
	過去の 実施内容 (22年度)

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	骨粗鬆症検診

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p> <p>国の健康増進事業実施要領に基づく骨粗鬆症検診の対象者は、40～70歳までの5歳刻みの女性限定であるが、健康の維持・増進を目標とした事業であるため、20歳以上の市民を対象として実施している。また、健康教育の対象範囲も性別・年齢の条件を設定していない。</p>										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	<p>簡単な検査で受診当日に結果がわかる骨粗しょう症検診は、検診結果に基づき自分の食生活や運動習慣を振り返り、健康維持・増進のための具体的な維持・改善点を個別に確認していくという、受診者本人にとって何をすれば良いのかが分かりやすいものである。骨粗鬆症と転倒による大腿骨骨折は寝たきり予防の上で重要な課題であるため、更なる骨粗鬆症検診受診者の増加と保健指導の充実を図る。</p>

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	健康福祉局	課	保健センター・成人保健担当
---	-------	---	---------------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向NO	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援 5232
事業名	子宮がん検診・乳がん検診の実施
事業内容	子宮がん、乳がんを早期に発見し、早期治療につなげるために子宮がん検診、乳がん検診を実施する。また、がん検診の重要性などの意識啓発に努め、市民の健康管理意識の向上と健康の保持増進を図る。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>子宮がん検診 【対象者】20歳以上で、4月1日現在、偶数年齢の市民である女性(実施回数は2年に1回) 【方 法】問診、視診、子宮頸部(膣部、頸管部)の細胞診検査 がん検診推進事業として、一定の年齢に達した者(20・25・30・35・40歳の女性)に対し、検診の無料クーポン券を配布し受診を促進する。 【実績】平成23年度 6,096人(うち、無料クーポン券利用者 3,690人)</p> <p>乳がん検診 【対象者】40歳以上で、4月1日現在、偶数年齢の市民である女性(実施回数は2年に1回) 【方 法】問診、視触診、マンモグラフィ検査及び自己触診法の指導 がん検診推進事業として、一定の年齢に達した者(40・45・50・55・60歳の女性)に対し、検診の無料クーポン券を配布し受診を促進する。 【実績】平成23年度 5,246人(うち、無料クーポン券利用者 3,412人)</p>
	過去の 実施内容 (22年度)

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	子宮がん検診、乳がん検診

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか																	
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p> <p>女性特有のがん検診であるため、対象者を女性に限定している。</p>																
評価2(CHECK) 数値目標																	
目標項目	子宮がん検診、乳がん検診の受診率																
目標・実績	<table border="1"> <thead> <tr> <th>目標値</th> <th>ともに増加</th> <th>達成年度</th> <th>28年度</th> <th>23年度</th> <th>6,096人 5,246人</th> <th>23年度</th> <th>6,345人(10.7%) 5,562人(13.3%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	目標値	ともに増加	達成年度	28年度	23年度	6,096人 5,246人	23年度	6,345人(10.7%) 5,562人(13.3%)								
目標値	ともに増加	達成年度	28年度	23年度	6,096人 5,246人	23年度	6,345人(10.7%) 5,562人(13.3%)										
実績の評価	達成している 下回った																

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	<p>子宮がん検診、乳がん検診ともに、保健所での乳幼児健康診査などの機会を通じて受診勧奨を継続して実施していくとともに、子宮がんは20歳から30歳代の若年層に多いため、大学や成人式でのリーフレットの配布などを行い若年層の受診者数の増加に努める。 また、無料クーポン券の対象者でがん検診を未受診の者に対して、無料クーポン券の有効期限内に利用するように再度、個別の受診勧奨通知を郵送(コールリコール)することで無料クーポン券の利用率の促進を図り、検診の受診者数の増加に繋げる。</p>

【第2次尼崎市男女共同参画計画】 実施状況調査(23年度)

局	市民協働局	課	協働・男女参画課
---	-------	---	----------

事業概要(PLAN)	
基本目標	5 女性の生涯にわたる健康の確保
方針	2 女性の一生涯にわたる健康の保持増進 重点方針
施策の方向	3 成人期・高齢期等における女性の健康づくり支援
NO	5233 【新規】
事業名	女性の健康についての啓発
事業内容	生涯を通じた女性の健康を支援するため、多様な年代を対象とする講座を行う。

実施内容(DO)	
実施内容	<p>女性のためのこころから健康セミナー</p> <p>「月経痛に悩まないで」開催。(7月28日、講師:末包博昭(医師)、受講者36人)</p> <p>「女性学生のための護身術 Wen-Do講習会」開催。(12月16日、講師:大沼もと子(Wen-Doインストラクター)、受講者12人)</p> <p>「女性のための護身術 Wen-Do講習会」開催。(12月17日、講師:大沼もと子(Wen-Doインストラクター)、受講者7人)</p> <p>「[息苦しいのはなぜ?]母との関係」開催。(1月21日・28日、講師:安田香珠子(「こころの相談室Woman」主催)、受講者40人)</p>
過去の 実施内容 (22年度)	

(参考)関連する事務事業評価の事業	
事務事業名	女性・勤労婦人センター指定管理者運営事業 ID48

評価1(CHECK) 男女共同参画の視点で事業を実施できたか											
男女共同参画の視点	<p>事業の企画・立案・実施にあたり、男女共同参画の視点を取り入れているか。 固定的な性別役割分担にとらわれずに実施したか。 対象者として男女双方を想定したか、また、双方にとって利用・参加しやすいよう配慮したか。 文章の表現・イラストについて男女共同参画に配慮しているか。 (その他の特記事項)</p> <p>生涯を通じた女性の健康を支援するため、対象を女性としている。</p>										
評価2(CHECK) 数値目標											
目標項目											
目標・実績	<table border="1"> <tr> <th>目標値</th> <th>達成年度</th> <th>年度</th> <th>23年度</th> <th>22年度</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	目標値	達成年度	年度	23年度	22年度					
目標値	達成年度	年度	23年度	22年度							
実績の評価	達成している 下回った										

課題整理(ACTION)	
今後の方向性 課題整理	女性の健康については、年代や状況によって多様な課題が生じる。コマ数などが限られる中、リプロダクティブ・ヘルス・ライツの視点で多様な課題にどのようにきめ細かく応えていくかが課題である。